

令和5年度 第2回みき歴史資料館協議会議事録

1 開会日程

- (1) 開会 令和6年3月15日(金) 午前10時
- (2) 閉会 令和6年3月15日(金) 午前11時30分

2 場 所 　　みき歴史資料館 3階会議室

3 議 題

- (1) 報告事項
 - ア 令和5年度下半期実施事業報告・利用者実績報告
- (2) 協議事項
 - ア 令和6年度事業計画案について
 - イ その他

4 出 席 者

- (1) 委 員 木村 修二、安田 信吉、大塚 康生、松下 君子、真野 朱美
- (2) 事務局 本岡教育総務部長、手島文化・スポーツ課長、富田館長、金松係長

5 公開・非公開の別 　　公 開

6 傍聴人の数 　　0 人

1 開 会 　　木村会長あいさつ

2 報告事項

- (1) 令和5年度上半期実施事業報告・利用者実績（資料1・2・3）

（事務局から報告）

[委員]

先日まで開催していた連携事業「お雛さま展スタンプラリー」では、ふれっぴーみきとして参加した中央公民館でも来館者が540名となったが、台紙に地図を掲載していたにもかかわらず、資料館までの行き方が分からないと言わ

れる方が多くあった。実際に案内した際も車で来館される方が多く、要望・意見にもあったが、分かりやすい標識・看板の設置を是非検討いただきたい。

[事務局]

その点については資料館としても十分に認識しており、県道沿いに設置している看板について、小さく見にくいいため大きくしたいと思っているが、県道には制限があり、許可が下りるのは厳しいと聞いている。また、城に向かう分かりにくい通路を利用して近現代に整備しているため、前回の協議会でも説明したとおり、観光振興課等関係所管課と開いている定例会において、周辺施設を周遊いただけるような案内板設置案を作成している。ただ、多額の費用が必要なことから、実現には至っていないのが現状である。

[委員]

協賛事業に挙げられている「三木城下町を巡る謎解きマップ」は、関西学院大学のどの学部・研究室との事業なのか。

[事務局]

一般教養科目にある授業の一環でされているフィールドワークに三木市も数年前から協力しており、その中で実施している事業になる。

[委員]

県内市町の中でフィールドワークに三木市を選んだのは、何かゆかりがあったからなのか。

[事務局]

三木市にゆかりがあったかは聞いていないが、丹波篠山市なども授業で取り上げておられるようで、城下町の地域活性化をテーマに授業をされているのではないか。

[委員]

丹波市には、関西学院大学が柏原町柏原に柏原スタジオ、関西大学は青垣町佐治の空き家を借りて佐治スタジオ、兵庫県立大学も山南町谷川の民家に山南スタジオをそれぞれ設けて授業なども行っており、若者が恒常的に町を訪れるようになっている。また、神戸大学でも農学部の前身兵庫県立農科大学が開学されたゆかりの地である丹波篠山市に篠山フィールドステーションを設けて

おり、三木市でも大学と連携していけば若者が訪れるようになると思う。

[委員]

かつて三木の産業であった染形紙は一昨年度に続き展示をされている中で、金物産業については他課が調査されているかもしれないが、金物の歴史について資料館で展示をされたりしているのか。

[事務局]

金物自体の展示は金物資料館があり、資料館では展示をしていないが、令和元年度に企画展「三木金物産業史と黒田清右衛門家」を開催し、金物産業を歴史的側面から資料などを通して紹介している。

3 協議事項

(1) 令和6年度事業計画案について（資料4）

（事務局から説明）

- ・ 前回の協議会で説明したSAGA2024連携企画展は、先方の国体事務局の人員削減により開催中止となった。

[委員]

来年度のことだが、別所公春まつりが行われる5月5日（日）、うえのまるシェや小さなレトロズの開催に加え、中央公民館駐車場では神戸電鉄の協力でミニトレインの走行も予定している。まだ詳細は決まっていないが、ミニトレインに乗車された方へ資料館を案内したいと思う。

[委員]

開催予定だったSAGA2024連携企画展の会期を教えてください。

[事務局]

当初は7月20日（土）からの会期を予定していた。

上田桑鳩展については、以前より堀光美術館から共催できないか相談があったのだが、SAGA2024連携企画展が既に決まっていたことから断念していた企画展案である。

[委員]

開催予定の歴史ウォークについて、集客の兼ね合いもあると思うが、三木地

区に集中しており、他地区でのコース設定はできないものだろうか。

[事務局]

4月に開催した「近世絵図で歩く三木城跡コース」を、来年度は「這田村法界寺山ノ上付城跡コース」に変更している。新たなコース設定については、集客が見込めるのかが大きな課題なことに加え、集合・解散場所を公民館等の駐車場としても、そこから巡ることのできる範囲も限られている。資料館でも、令和4年度に旧中吉川小学校の駐車場を集合・解散場所として「吉川町有安・鍛冶屋の文化財コース」を開催したが、駐車場には15台程しか駐車できない上にトイレの問題もあった。しかも、旧中吉川小学校は民間企業との間で賃貸借契約を締結し事業を予定していることから難しいと思う。

[委員]

吉川や志染には地区の歴史を研究されているグループやサークルもあるので、そういった団体と協力しての歴史ウォークやイベントの開催も考えられてはどうか。

[委員]

みっきいハイキングもあるので、コースや時期が重ならないようにいただければと思う。

[事務局]

みっきいハイキングを主催している観光振興課とは、コースや時期が重ならないよう連絡・調整を図っている。また、コース設定について議論した際、5月に開催した「ホースランドパーク周辺付城跡コース」では、集合・解散場所として道の駅みきを利用していたのだが、例年30名程の参加者だったため問題にはならなかったが、今年度は参加者が87名となり、駐車場の件で苦情があったので、そのあたりも考えていかななくてはならないと思っている。

[委員]

来年度、市史編さん室では『細川の歴史』が刊行されるので、地区に点在する遺跡などを巡るようなイベントを市が所有しているマイクロバスを利用して開催できないか善処いただければと思う。

(2) その他

[事務局]

委員の任期は来年度の7月31日までとなっており、公募委員については6月を目途に募集を予定している。

4 閉 会 大塚副会長あいさつ